

2022年度 第2回 順天堂大学医学部附属順天堂医院
医療安全に関する外部監査委員会 実施報告書

日 時：2023年3月29日（木）15：00～16：00

場 所：D棟8階カンファレンスルーム

外部委員：尾崎 治夫 委員長（東京都医師会会長）

蒔田 覚 委員（蒔田法律事務所弁護士）

村山 徹 委員（早稲田大学 客員教授・当日都合により書面による評価のみ）

対応者：坂本 一博 医療安全担当副院長、医療安全管理責任者

米澤 和彦 事務部長

小林 弘幸 医療安全推進部長

佐藤 邦義 医薬品安全管理責任者

中村 昭也 医療機器安全管理責任者

木暮 陽介 医療放射線安全管理室 副室長

川崎 志保理 医療安全機能管理室長

山本 宗孝 医療安全機能管理室（医療安全管理部門）副室長

養田 絢子 医療安全管理者、医療安全管理部門 専従看護師

鈴木 麻衣 医療安全管理部門兼任室員、総合診療科医師

原 厚子 医療安全管理部門兼任室員、麻酔科医師

清水 久美子 医療安全管理部門専従看護師

松本 雅弘 医療安全管理部門専従薬剤師

古田島 正樹 医療安全管理部門兼任室員、臨床工学技士

高橋 潤平 医療安全管理部門専従事務員

議事内容：

1. 開会の辞
2. 業務状況報告
 - 1) 前回監査指摘事項に関する報告
 - 2) 医療安全管理責任者業務状況報告（2022年4月～2022年9月）
 - 3) 医療安全管理部門業務状況報告（同上）
 - 4) 医療安全管理委員会業務状況報告（同上）
 - 5) 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等実施状況報告（同上）
 - 6) 医薬品安全管理責任者業務状況報告（同上）
 - 7) 医療機器安全管理責任者業務状況報告（同上）
 - 8) 医療放射線安全管理責任者業務状況報告（同上）
3. 監査委員の講評および質疑
4. 閉会の辞

委員会内容：

➤ 2022 年度上半期（4～9 月）業務状況の確認

以下内容について、書面および口頭で業務状況の確認をした。

- 前回監査指摘事項に関する報告
- 医療安全管理責任者業務状況報告（2022 年 4 月～2022 年 9 月）
- 医療安全管理部門業務状況報告（同上）
- 医療安全管理委員会業務状況報告（同上）
- 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等実施状況報告（同上）
- 医薬品安全管理責任者業務状況報告（同上）
- 医療機器安全管理責任者業務状況報告（同上）
- 医療放射線安全管理責任者業務状況報告（同上）

➤ 監査結果

◇ 前回指摘事項に対する改善状況

1. 院内自殺事例への確実な再発防止策の実施

スクリーニング対象範囲を拡大し、病棟内での環境面のリスクを洗い出し、該当部署に写真付きでフィードバックされていた。

自殺に関しては、病院に限らず、社会的に対応を求められており、その中で病院はハイリスク群と考えられている。引き続き対応していく必要があると考える。

2. インシデントレポートの適切な報告に向けての教育支援

病院機能評価で報告を求められている手術関連の 2 指標（①術後の肺塞栓症発生率、②24 時間以内の予定外の再手術）について検証し、後方視的に評価および当該診療科へフィードバックしている。①術後肺塞栓症発生率を確認した結果、既往に血栓症がある患者以外、術後肺塞栓症の再発防止に資する報告事例対象はなかった。

また、②24 時間以内の予定外の再手術を確認した結果、本来提出され得るインシデントレポート事例の 8 割の提出が確認できた。重症な疾患に対する、繰り返しの手術と予期しない再手術の定義が難しい症例があることがわかった。現在、早めに対象事例を吸い上げ、フィードバックする体制を構築している。その結果、未提出の件数も減少しているため、モニタリングを継続し、適切な報告の意識の更なる向上に期待したい。

3. インシデント分析における新たな視点での要因や傾向の検証

75 歳以上の外来患者の転倒転落発生率を病院の安全重点項目としてモニタリングしている。発生状況の検証および再発防止策立案の新たな視点として、品質管理部門の QI 担当者にも検証への参加を要請し、ハザードマップを作成している。今後、順天堂医院の学内 HP への掲載が予定されている。

また、院内ポリシーでリスクの高い患者・治療・エリアを定義しており、実際の転倒事例との整合性をデータ収集し、必要に応じて定義の変更についても検討が進められている。

◇ 評価すべき点

1. 医療安全管理について堅実に進められている。
2. 院内自殺対策が適切に進められている。
3. 管理サイクルが構築され、一步踏み込んだ分析・検証・支援活動が行われている。
4. 医療安全管理委員会、RM 小委員会などの委員の出席率が非常に高く、安全管理についての意識の高さを感じられた。

◇ 改善すべき点（指摘事項）

1. 転倒転落において、環境要因以外に転倒患者の栄養状態にも着目して検証いただきたい。
2. 科学的な根拠データに基づいた活動にするため、関連するデータの整備、データ間の連携強化を進めていただき、近い将来に向けた AI 化推進の活動を進めていただきたい。

◇ 全体評価

特定機能病院としての安全管理体制が一層整備・充実していることが確認された。

以上